

観光施策の検討資料（素案）

施策の方向性	基本施策	施策	事業案 《本構想では事例にとどまる》
I 市内滞在時間の延長	(1) 滞在観光プログラムの開発	1) 「(仮)あかし感動体験135コース」の開発	①「魚を楽しめるまち・明石」を推進する“明石モデル”プログラムの開発 例 漁業体験、セリ見学、魚介の調理見学、明石焼きづくり 等 ②海岸線を活用するプログラムの開発 例 サイクリング、海水浴、自然観察 等 ③市内各地の資源を利活用する「歩く観光」の推進 例 子午線、食材、昔の街並み、西灘酒蔵群、農・漁・商・工連携 等 ④特定ターゲット向けプログラムの開発 例 親子・ファミリー、若者、教育旅行、ビジネス宿泊者 等
		2) 滞在観光プログラムの開発を促進する快適な空間づくり	①ルート上の休憩場所、トイレの整備および修景整備 ②常設タッチプールの整備 ③地元食材の調理、試食、購入体験の場の整備 例 魚介、野菜、明石焼き体験 等 ④記念写真撮影を促すオブジェの設置
	(2) 公共施設の観光活用	1) 公共施設の観光活用	①天文学館、明石文化博物館における体験学習対応体制の検討 ②中崎公会堂の観光利用の推進 ③ 公共施設 の利活用による教育旅行プログラムの開発 ④魅力あるミュージアムグッズの開発
		(3) イベントの開発、拡充	1) 若年層を集客する仕掛けの開発
	2) 季節感のあるイベントの開発		①冬季イベントの開発 テーマ例 季節の食、スポーツ 等 ②四季ごとの再来訪を促進するイベントの開発 テーマ例 季節の食、釣り、写真撮影、自然観察 等
	3) 観光客が楽しめるイベント要素の拡充		①市民、NPO団体、企業等が主催するイベントや祭りへの交流要素の導入の支援

施策の方向性	基本施策	施策	事業案 《本構想では事例にとどまる》
Ⅱ 潜在的な来訪需要の喚起	(1) 「立ち寄り」ターゲットの拡大	1) 二輪車利用者の滞留促進	①自転車、モーターバイクの駐輪場の整備 ②自転車、モーターバイク利用者の「駅」の整備 例 休憩、メンテナンス、情報交換の場の提供 等
		2) ビジネス宿泊客の観光客化促進	①夜間、早朝に参加しやすい滞在観光プログラムの開発 例 夜間クルーズ、明石海峡の夜景紹介、明石公園の早朝散歩 等 ②宿泊施設、飲食店における地元食材のキャンペーン 例 地区替わりの昼食メニューキャンペーン 等 ③鉄道駅やフェリー乗り場における朝食の提供
		3) スポーツ競技参加者の市内回遊の促進	①明石公園と大蔵海岸の連携の魅力開発 例 温浴施設の割引支援 等
		4) エクスカーション需要の開拓	①神戸、淡路の会議参加者専用プログラムの開発 唯一性の高いテーマ例 明石海峡大橋の見学と「魚を楽しめるまち・明石」の体験 等
	(2) 明石駅を利用する大学生の滞留促進	1) 明石駅を利用する大学生の滞留促進	①短期的なビジネスの実験場所の提供 例 週替わりオーナー制のカフェ、音楽演奏の場づくり 等 ②大学との連携によるイベントの実施

施策の方向性	基本施策	施策	事業案 <<本構想では事例にとどまる>>
Ⅲ 回遊の利便性の向上	(1) 市内周遊の促進	1) 「歩く観光」の環境整備	①案内・誘導標識の整備 ②観光施設、休憩場所、トイレのユニバーサルデザイン化 ③街路燈整備など歩道の安全確保
		2) レンタサイクルの利用しやすさの向上	①乗り捨て・配達・回収可能なレンタサイクルの整備
		3) 観光地を結ぶバスの運行	①イベント時やハイシーズンの観光地巡回バスの運行 ②市内の観光地を巡回する観光バスルートの検討、運行
	(2) 案内機能の充実	1) 案内・誘導標識の点検、設置	①観光関連の案内・誘導標識の点検、修繕、設置 ②QRコードによる携帯電話での情報入手システムの整備
		2) 観光案内所の機能の拡大	①営業時間の見直し ②コンシェルジュ業務への転換 例　おすすめ情報の提供、店舗への問合せ、滞在観光プログラムの予約代行　等 ③移転の検討 ④店舗によるまちなかの案内の補完

施策の方向性	基本施策	施策	事業案 ≪本構想では事例にとどまる≫
IV 観光プロモーションの強化	(1) 情報収集・発信の戦略づくり	1) 情報集約窓口・経路の見える化	①明石観光のポータルサイトへ情報を集約するための仕組みづくり
		2) PR素材の収集、定期的な更新	①観光情報、特産品情報のデータベース制作 ②訴求力ある四季の写真の収集、更新 例 定期的な写真コンテスト、投稿受付 等
		3) ターゲット別の訴求内容と発信手法の整理	①「明石で観光する」イメージの創出 ②ターゲット別の訴求イメージと発信手法の検討 ③マスコミへの情報提供体制の確立
		4) マーケティング情報の入手	①アンケート調査等による観光実態の把握 ②観光振興連絡会の定期的な開催 ③公募モニターツアーの実施
	(2) 多様な情報発信の展開	1) ICTを利活用した情報発信	①観光情報ポータルサイトの充実 例 観光協会のホームページのリニューアル 等 ②各種携帯端末への観光情報の発信 ③宿泊施設紹介システムの整備
		2) メディアを活用した情報発信の強化	①マスコミとの関係構築 例 旅行マスコミとの交流会、プレスツアーの実施 等 ②旅行会社、交通事業者へのプロモーション 例 滞在観光プログラムの商品化セールス、交通事業者のメディア活用による共同販促 等
		3) 訴求力のある情報発信ツールの制作	①最新情報の提供 例 観光情報ポータルサイトの更新内容の見直し 等 ②集客効果の高い情報発信ツールの制作 例 観光情報ポータルサイトや観光マップなどのデザインの見直し 等
		4) 特産品の消費機会の拡大	①農産物の市内販売拠点の強化 ②【再掲】地元食材の調理、試食、購入体験の場の整備 例 魚介、野菜、明石焼き体験 等 ③市外の流通事業者との連携事業の実施 例 PRキャラバン隊の派遣 等 ④物産展の企画および出展 ⑤期限付き買い物券の発行 例 メディアを活用するクーポン 等

施策の方向性	基本施策	施策	事業案 ≪本構想では事例にとどまる≫
V 広域連携の推進	(1) 都市間連携の推進	1) 神戸、淡路、姫路など周辺観光都市との連携	①周遊観光の特典づくりの促進 ②定期的な共同キャンペーン活動 ③他都市の観光情報の案内・設置 例 市内の観光地で連携する都市の観光情報を案内 等
		2) 海峡文化を有する都市との連携	①海峡都市のネットワークづくり
	(2) 交通事業者との連携推進	1) 市内外を結ぶ交通アクセスの向上	①西明石駅から市街地への移動利便性の向上 例 直行バス便の検討、運行 ②「歩く観光」推進における船とバスの乗り継ぎ連携の検討
		2) 広域交通拠点における情報提供	①西明石駅、3空港、高速道路SAでの観光情報の掲示、常設 ②西明石駅、3空港、高速道路SAでの定期的なPR活動

施策の方向性	基本施策	施策	事業案 《本構想では事例にとどまる》
VI 外国人旅行者の誘客促進	(1) 外国人旅行者の受入れ体制づくり	1) 外国人がひとり歩きできる環境の整備	①観光案内・誘導標識の外国語併記 ②外国語対応可能なボランティアガイドの育成 ③通訳サービス付携帯電話の貸出支援 ※民間事業
		2) 外国人受け入れ体制づくりの支援	①国・地域別の外客対応マニュアルの作成、配布 対象例 飲食店、宿泊施設、物販施設、観光施設 等 ②インバウンド関連研修の実施 例 決済の利便性向上、外国人アルバイト雇用 等
	(2) 在日外国人および東アジアを中心とする訪日外国人旅行者の誘致	1) 発信情報の多言語化	①観光情報ポータルサイトの多言語化 ②観光マップなど案内印刷物の多言語化
		2) 誘致活動の推進	①国内で唯一性の高い観光資源による滞在観光プログラムの開発 ②在日・駐日外国人、在日留学生に向けた観光プロモーション ③友好姉妹都市(中国、米国)と連携した訪日外国人の誘致 ④周辺観光都市との連携による海外マスコミ、海外旅行会社へのプロモーション ⑤著名な海外ガイドブックへのプロモーション

施策の方向性	基本施策	施策	事業案 《本構想では事例にとどまる》
VII 観光の担い手育成	(1) もてなしの気運づくり	1)事業者向け研修の実施	①ホスピタリティ研修 例 成功ノウハウ、活動の現場体験、受講者によるワークショップ 等 ②観光まちづくり出前講座 例 事業団体等を対象に観光まちづくりの意義を説明 等
		2)小中学生に対する啓発	①地域の観光を知る学習プログラムづくり ②観光施設における中学生のインターンシップの推進
		3)クレーム情報の把握とフィードバック	①観光協会や市に寄せられた苦情の整理と報告
	(2) 観光ボランティアの育成	1)観光ボランティアの育成	①観光ボランティアガイド育成講座 ②継続的なブラッシュアップ講座の開催
		2)まちなかの案内機能の育成	①まちかど案内所の募集、育成 例 観光施設、店舗が担う観光案内機能 等
	(3) 滞在観光プログラムの発案の促進	1)市民による発案の促進	①コミセンにおける「歩く観光」マップづくり ②NPO団体との連携事業の推進
		2)事業者、企業による発案の促進	①テーマ別の事例研修会の実施 ②提案を発展させる関係者間の橋渡し 例 観光振興連絡会の分科会として会議の場を随時設定 等
		3)観光ビジネスの起業支援	①滞在観光プログラムの企画実施主体の支援 ②空き店舗を活用した出店、開業の支援
	(4) 観光における地域のリーダーの育成	1)観光地域プロデューサーの育成	①イベントやキャンペーンの実行の体験作り ②大学との連携による観光のプロ人材の育成 ③観光協会のプロデュース機能の強化

施策の方向性	基本施策	施策	事業案 <本構想では事例にとどまる>
Ⅷ 協働で推進する体制づくり	(1) 観光振興を牽引する組織づくり	1) 観光協会の機能強化	①観光のプロ人材の確保 ②段階的な機能拡大、市との役割分担の明確化 ③イベントにおける広告代理店機能の強化 ④将来的な旅行業免許の取得
		2) 観光協会を中心とする組織間ネットワークの構築	①観光振興連絡会の拡大 ②観光協会と商店街、自治会との連携強化 ③旅行会社に対するシステムづくり 例 「観光地域づくりプラットフォーム」など国の支援策の活用 等 ④業務目的別の臨機応変なネットワークの構築
	(2) 市民参画を促進する仕組みの提供	1) 観光ボランティアの人材登録・派遣	①観光ガイドボランティア ②イベント、祭り運営のボランティア ③「明石・タコ検定」認定者の活用
		2) 市内に向けた観光情報発信	①観光関係事業者の情報共有サイトの整備、運営 ②地域SNSとの連携 例 観光関連の書き込みグループ運営 等
		3) アイデアコンテスト	①弁当、スイーツなど食の特産品開発 ②観光ビジネスアイデア ③PR手法に関するアイデア
	(3) 大学・研究機関との連携	1) 研究対象地としての連携	①国などによる実証実験の対象地として参加協力 ② 大学生 の視点で明石観光を検証 例 観光資源、マーケティング 等 ③複数大学によるツアープランコンテスト
		2) 人材育成における連携	①【再掲】大学との連携による観光のプロ人材の育成 ②外国語観光ボランティアの育成